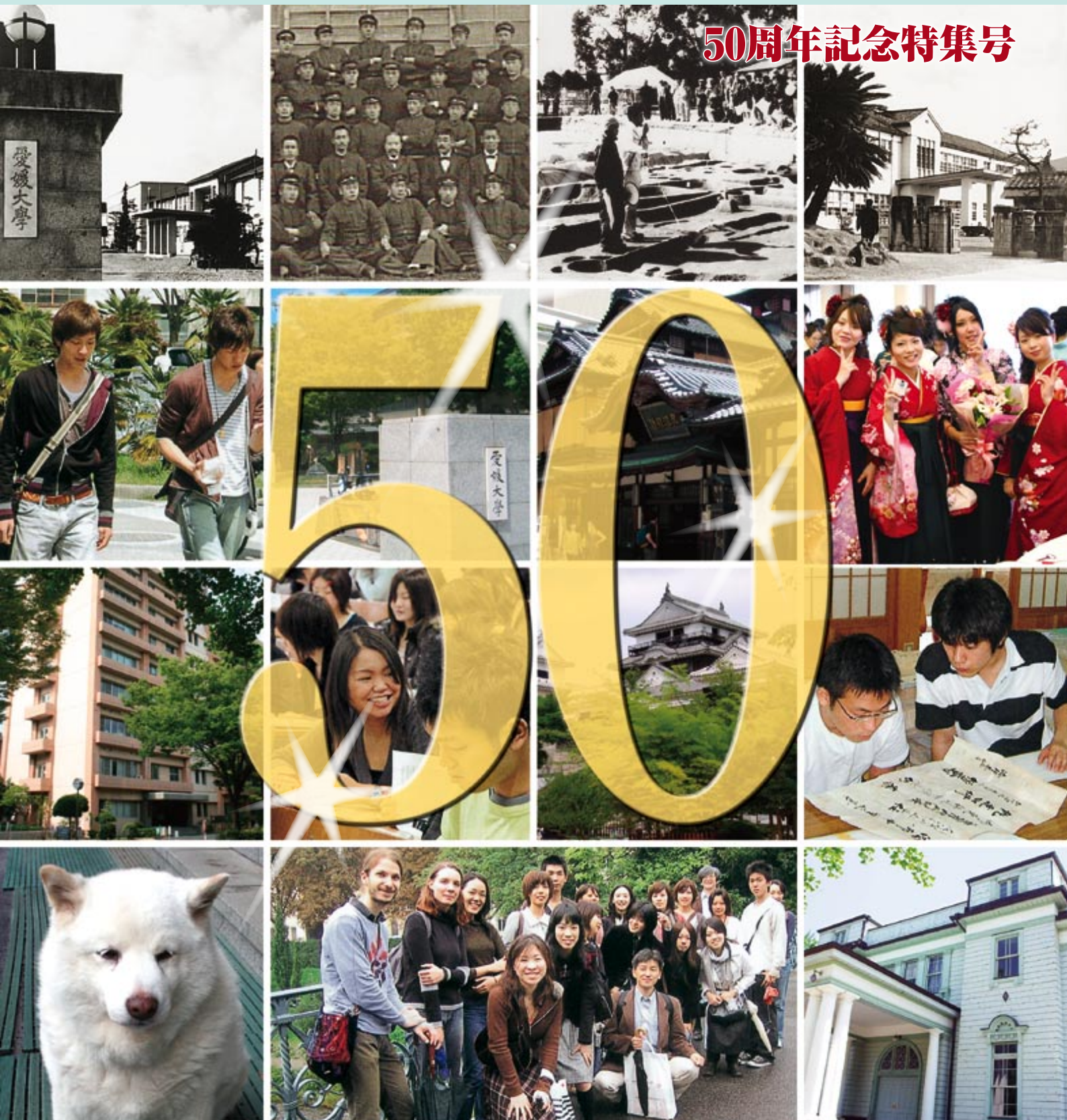


同窓会報

50周年記念特集号



愛媛大学法文学部同窓会事務局

愛媛大学法文学部 同窓会50周年 記念号

目次

ご挨拶	2
玉井 靖彦	
柳澤 康信	
森本 惇	
西村隆誉志	
黒木 幹夫	
同窓会50年の歩み	4
法文学部の変遷	4
歴代会長	6
会報・名簿	7
牧野先生インタビュー	8
提供講座『社会と人間』報告	10
ご存知ですか	11
総合政策学科・人文学科	
コース紹介	12
Photograph in Campus	12
数字で見る愛大生の収支状況	13
『観光まちづくりコース』スタート	14
EHIME UNIVERSITY NEWS	14
卒業記念祝賀会	15
支部だより	16
同窓会理事会報告	18
同窓会創立50周年記念行事	19
パズル・編集後記	20



題字：柴田 祐昭
 (文理学部人文学科史学専攻・第8回卒)
 [明楽寺住職・愛媛県美術会理事・
 県展審査員・毎日書道展審査会員]

50周年記念総会 の参加を歓迎 ー存在意義を再検討し 新たな発展へー

法文学部同窓会長 玉井 靖彦

法文学部同窓会は、昭和34年に創立されました。以来会員みなさんの支えと参加、理事・役員の方々の献身的な運営努力により継続発展し、今年50年目を迎えました。会員数も約1万6800人に達しています。

10月31日には記念の総会を開き、出席者全員で祝いたいと思います。会場のスペースに限りはありますが、多数のみなさんのご出席を歓迎申し上げます。

愛媛大学創立後60年、キャンパスは大きな変貌を遂げました。卒業以来長年大学を訪れたことのない方々は、きっと現在の姿に目を見張ることでしょう。法文学部関係では、前身の文理学部時代の持田町の講堂が唯一創立時の姿をとどめているのみです。

50周年の主な記念事業として①記念講演（演題：松山市立子規記念博物館竹田館長の「坂の上の雲について」）、②大学へ大時計の贈呈、③同窓会旗の作成、④会員名簿の発行を実施する予定です。

次に、同窓会へのご理解とご支援を願い

同窓会創立 50周年に寄せて

愛媛大学長 柳澤 康信

皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。昭和34年10月に文理学部同窓会として創立された法文学部同窓会が、このたび50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。また、寄附科目・提供講座や就職支援などを通して日頃より愛媛大学の教育・人材育成に関してご援助たまわっていることにも厚くお礼申し上げます。

ご存知のように、国立大学は平成16年に国立大学法人になりました。法人化に伴って大学の組織・制度・運営のあり方は大きく変化しました。6年ごとに中期目標・中期計画を立てて、それを文部科学省に提出するという作業も以前にはなかったことです。また、6年ごとに大学の実績が国によって評価され、その評価結果が運営費交付金に反映されるという仕組みもこれまでになかったことです。評価対応の書類作りなど新規業務が大幅に増加し、「評価疲れ」という言葉もよく耳にするほど教職員は忙しくなっています。

しかしその一方で、文部科学省に全面的

なく、現在の同窓会の主な事業活動をご紹介します。一つは、年1回定期的に会報を発行しています。また、ホームページやメールも併せて利用可能ですので、同窓会と会員みなさんとの間のコミュニケーションを深めることにご活用ください。

二つ目は、関東、関西、広島、四国の4地域に支部があり、それぞれの特徴を生かした活動を行っています。会員の親睦と気づなを深めるために、支部活動は同窓会の活動の中で重要な位置を占めるもので、活動内容の充実と広がりが期待されるところです。

三つ目は、大学支援事業として法文学部に対し①寄附科目（専門科目の経費助成）、②提供講座（法文学部学生に対する卒業生の講師による授業）を実施しています。今年は3年目になりますが、大学や学生の評価は高く今後も継続実施する計画です。

節目の50年ということで、今号の会報は「50周年記念特集号」としました。これを機に、その歴史を振り返り、母校法文学部への思いと愛着の念を深め同窓会の存在意義や将来の方向について考える機会としていただければ幸いです。

最後に、会員みなさんの今後のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

に依存し「護送船団方式」とか「親方日の丸」と揶揄された時代とは異なり、大学運営の自由度が拡大し、戦略的な経営が可能になったのも事実です。その結果、「個性がない」と言われた国立大学も次第にそれぞれの特徴が明確になってきています。

自画自讃になりますが、愛媛大学はいま注目度の高い大学です。朝日新聞出版「2010年度版大学ランキング」に載っている「学長からの評価」は教育分野で12位、研究分野で16位。特に教育分野の12位は国立大学でトップです。教育面では教育改革や教員の能力開発の取り組みが注目されています。研究面では、法人化以前からの基本方針「先見性や独創性のある研究グループを組織的に支援し、世界レベルの研究拠点形成を目指す」に沿った施策が功を奏して、2年連続でグローバルCOEプログラムに採択されるなどの実績を残しています。

愛媛大学のこれからの課題のひとつがブランド力を高め、質の高い学生を確保すること。そのためには、同窓会などの大学サポーター組織との連携を強化する必要があります。来年度からの第2期中期目標にも「卒業生、同窓会組織、地域等と連携して、愛媛大学への支援者を幅広く確保する」ことを掲げています。今後とも本学へのご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、50周年記念事業のご成功を心よりお祈りいたします。

羽ばたけ 愛媛大学

愛媛大学校友会会長 森本 惇

本年愛媛大学法文学部同窓会が創立50周年を迎えられましたこと、心からおよこびを申し上げます。

50周年の節目を迎えられましたのも同窓会の役員の皆様を始め会員の方々の母校に対する愛着の表れと深く敬意を表します。

さて、母校愛媛大学は平成16年「国立大学法人愛媛大学」として生まれ変わり、大学運営において民間の企業理念に沿った運営が必要となりました。これにあわせて愛媛大学の同窓生・旧在籍教職員・在籍学生を繋ぐ組織として「愛媛大学校友会」が設立されました。

大学の教育・研究、地域貢献を側面から支援すること、そして、会員相互の親交を図ることを目的としています。

学生への支援として奨学金・サークル活動・留学生・就職活動等、大きな成果と共に校友会活動の範囲も広まってまいりました。また、大学においても「学生中心の大学づくり」「地域に密着した大学」を目指し、その成果は世界に誇る学術研究（タンパク質など）・地域企業との産学官連携による地域活性化、経済発展に大きく寄与し、その存在感を深め、法人化後の国の評価では“地域ナンバーワンの大学”の評価を受けるに到っています。

国立大学法人愛媛大学が、地域になくてはならない大学として、今後も羽ばたく大学となるようご期待し、あわせて法文学部同窓会のますますのご発展を祈念し、校友会活動へのご理解・ご支援をお願いいたしましてご祝辞とさせていただきます。



法文学部同窓会 50周年に寄せて

法文学部長 総合政策系担当学部長 西村隆誉志

このたび愛媛大学法文学部同窓会におかれましては創立50周年という節目の年を迎えられました。誠におめでとうございます。法文学部同窓会には常日頃、同窓会提供講座をはじめ種々の支援事業をもって学部運営に配慮していただき感謝申し上げます。

愛媛大学は1949年(昭和24年)に新制大学として創立され、今日まで60年の歴史を刻んでまいりました。法文学部は1919年(大正8年)4月地元各界の悲願であった旧制松山高等学校(松高)の創設をその沿革とし、新制大学創立当時は文理学部として出立しました。その後、1968年(昭和43年)に法文学部に組織再編がなされてからも40年余りの歳月が流れているところでございます。

卒業年を確かには思い出せなくとも、在学していた当時の学長、学部長名を手がかりにして旧交を温めることはままあることですが、この間7人（井出淳二郎、橋本吉郎、大植登志夫、大野盛直、若林秀泰、中村有、小脇一海）が文理学部長を、13人（三崎敬之、藤井高美、城戸正彦、星島一夫、美山靖、三島宣也、溝口兢一、小松光三、藤川研策、今泉元司、湯浅良雄、森孝明、小淵港）が法文学部長の責務を負ってきました。

法文学部は設置後、法学科、文学科、さらには経済学科を擁して、それぞれ時日を刻んできました。1996年(平成8年)からは、総合政策学科、人文学科の2学科となり今に至りますが、大所帯となったこと、かつまた学内において機能的にうごく必要もあって、2005年(平成17年)からは学内2学科体制をとっています。連携をとりつつも基本的には両学科が独自に教授会を構成、運営することとし、学生の入学・卒業、学部特別コース及び大学院法文学研究科に関することについては共同で実施しています。両学科の現在の構成は、この記念誌に紹介されているとおりです。(P12～13)

愛媛大学は、幸いにも、教育改革、研究拠点化、また管理運営いずれの面においても高い水準の評価を維持しており、決して悪い要素は見当たりません。しかしながらいちど改革に着手しますと、たゆまぬ改善努力に追われるのが現状です。無理をしないことも大事なことでありますが、この伝統ある学び舎をよくしていくには皆さまのご意見とご批判を仰ぎながら進めるのが肝要だと存じます。今後とも厳しいご指導をよろしくお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

法文学部同窓会 50周年に寄せて

人文系担当学部長 黒木 幹夫

法文学部同窓会の50周年に当たり、同窓会のさらなる発展を祈念しつつ、一言挨拶を述べさせていただきます。併せて法文学部は、同窓会の皆様の期待に応えるべく、いっそうの努力を惜しみません。今後とも、よりよい関係が築かれることを心から願います。

50周年といえば、まさに半世紀に当たります。この間の大学をめぐる環境は大きく変化し、愛媛大学自体も、法人化を始めとして劇的な変容を遂げております。教員のありようも変わり、昔の尺度では測れない学生が入学してくるようにもなりました。そのようなか、愛媛大学は学生中心の大学を標榜し、各学部がそれにふさわしい人材育成の旗印を掲げました。それに伴い、教員の意識も、徐々に研究から教育へと転換しつつあります。

人材育成というものはしかし、その基礎に人間形成がなければ、はなはだ片手落ちになります。なぜなら、人間というものは、一方で「人的資源」(manpower) すなわち社会の人材でありながら、他方で「人間であること」(manhood) をその本質とするものだからです。人間形成とは、この「人間であること」を現実化することにほかなりません。

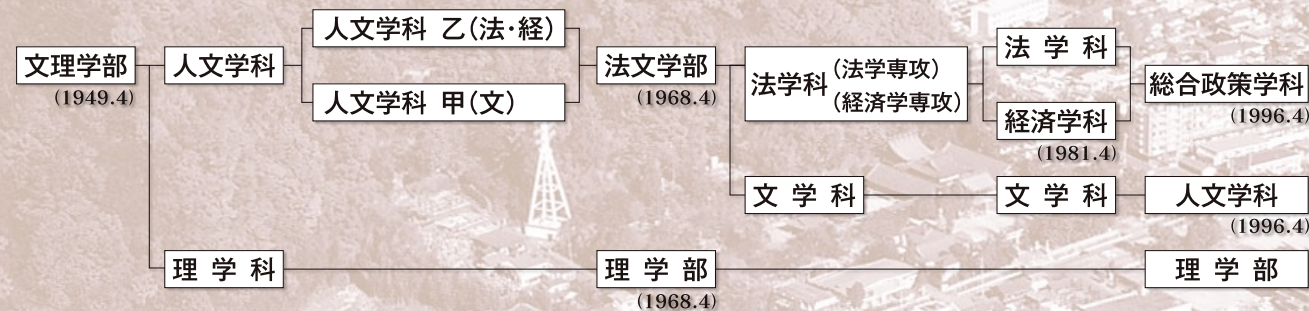
昔は、家庭および共同体が社会のシステムとして機能し、人間形成を支える役割を担っていました。ところが現代では、そのシステムは崩壊しつつあり、人間形成を支える場がどこなのが見えにくくなっています。恐らくは、人材育成を旗印に掲げることとは、大学が人間形成を支える場でもあるようにとの、社会の要請を先取りしてのことであるように思われます。

そうであれば、また家庭に多くを期待できないとすれば、教員と学生と卒業生とが一体となり、学生自身の人間形成を支える、かつての共同体の役割を果たしていくしかありません。この流れに沿って、同窓会のあり方自体にも、教育の一翼を具体的に担うというかたちでの変容が期待されていると思われます。法文学部がいかに学生の人間形成を支える場となるかは、ひとえに、法文学部と同窓会とが、お互いにどのような関係を築いていくにかかっています。

同窓会の皆様には、今後ともいっそうのご協力をお願いすると共に、法文学部に対して忌憚のないご意見を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

法文学部同窓会50年の歩み

愛媛大学法文学部の変遷



文理学部同窓会

年	月	愛媛大学・文理学部・法文学部・同窓会の動き	同窓会役員（本部）
1949（昭24）	5	愛媛大学開学 文理学部（人文学科甲・乙、理学科） 教育学部・工学部	
1953（昭28）	3	文理学部第1回卒業	
1954（昭29）	4	農学部設置（愛媛県立松山農科大学の国立移管）	
1959（昭34）	10	文理学部同窓会創立総会	会 長：星野 陽（文史53） 事務局：牧野 修二（文史53）
1960（昭35）	11	第2回総会	会 長：星野 陽（文史53） 事務局：牧野 修二（文史53）
1961（昭36）	11	第3回総会	会 長：星野 陽（文史53） 事務局：牧野 修二（文史53）
1962（昭37）	11	関西支部（にきたつ会）創立総会 中心メンバーは請川満夫(文法53)、山崎光平(文法53)、後藤幹郎(文経60)	
1963（昭38）	3	第4回総会	会 長：井出 康夫（文経53） 事務局：牧野 修二（文史53）
	8	文理学部が城北地区に移転 工学部が新居浜市より城北地区に移転	
1965（昭40）	5	第5回総会	会 長：井出 康夫（文経53） 事務局：牧野 修二（文史53）
	10	関東支部（東京章光会）創立総会 会 長：芝原 正昭（文法53） 事務局：森田 正（文法58）	
1966（昭41）	11	第6回総会	会 長：井出 康夫（文経53） 事務局：牧野 修二（文史53）
1968（昭43）	4	文理学部を法文学部（法学科法学専攻、法学科経済学専攻、 文学科）、理学部、教養部に改組	
	5	第7回総会	会 長：前田 繁一（文法55） 事務局：牧野 修二（文史53）
1969（昭44）	6	大学紛争で法文学部が学生により封鎖される	
1970（昭45）	6	第8回総会	会 長：前田 繁一（文法55） 事務局：牧野 修二（文史53）
1972（昭47）	3	法文学部第1回卒業	
1973（昭48）	4	法文学部法文学専攻科新設	
	9	医学部新設	
1977（昭52）	12	第9回総会	会 長：前田 繁一（文法55） 事務局：牧野 修二（文史53）
1979（昭54）	4	法学科「夜間主コース」新設	
	8	第10回総会（文理学部同窓会改組） 法文学部同窓会（文理学部人文学科・法文学部） 理学同窓会（文理学部理学科・理学部）	会 長：前田 繁一（文法55） 事務局：牧野 修二（文史53）

法文学部同窓会

年	月	愛媛大学・文理学部・法文学部・同窓会の動き	同窓会役員（本部）
1979（昭54）	8	第1回総会	会 長：前田 繁一（文法55） 事務局：牧野 修二（文史53）
1980（昭55）	4	事務局担当、西田博（文経55）に交代	
1981（昭56）	4	経済学科新設（昼間主コース・夜間主コース） 大学院法学研究科修士課程新設	
	11	第2回総会	会 長：前田 繁一（文法55） 事務局：西田 博（文経55）
1982（昭57）	4	同窓会終身会費の徴収を入学時に変更（同窓会財政基盤の確立）	
1983（昭58）	4	文学科「夜間主コース」新設	
	8	同窓会創立30周年記念祭	
	11	第3回総会 ※会長を法学科系・文学科系・経済学科系の輪番制にする	会 長：土居 俊夫（文英53） 事務局：西田 博（文経55）
1985（昭60）	1	幹事会（会長の任期途中交替） ※土居会長の東京転勤に伴う臨時措置	会 長：工藤 格（文国57） 事務局：西田 博（文経55）
	5	朋友会館（愛媛大学職員会館）開館	
	6	同窓会事務局を朋友会館に移転	
1986（昭61）	11	第4回総会	会 長：余田 実（文経58） 事務局：西田 博（文経55）
1990（平2）	11	第5回総会	会 長：白石 隆（文法56） 事務局：西田 博（文経55）
1993（平5）	11	第6回総会	会 長：野本 陽二（文哲54） 事務局：西田 博（文経55）
1994（平6）	4	幹事会（副会長・事務局長制の決定） ※同窓会の規模拡大に合わせて副会長2名・事務局長を置く	会 長：野本 陽二（文哲54） 副会長：西田 博（文経55） 副会長：白石 喜徳（文法62） 事務局長：余田 実（文経58）
1996（平8）	4	総合政策学科(法・経)・人文学科(文)の2学科に再編成 教養部解体に伴う再編成	
1997（平9）	11	第7回総会	会 長：西田 博（文経55） 副会長：白石 喜徳（文法62） 副会長：相原 明子（文英64） 事務局長：余田 実（文経58）
1998（平10）	4	大学院法文学研究科修士課程新設	
	5		事務局長を西田会長が兼務
1999（平11）	11	愛媛大学開学50周年記念式典	
2000（平12）	11	第8回総会	会 長：白石 喜徳（文法62） 副会長：藤野 計紀（文経64） 副会長：仙波 太郎（文史59） 事務局長：藤野 計紀（兼任）
	12	事務局に電話・FAX設置	
2003（平15）	6	第9回総会 ※愛媛大学校友会への参加決定	
2004（平16）	1	理事会	
	3	愛媛大学校友会設立	会 長：仙波 太郎（文史59） 副会長：藤野 計紀（文経64）
	4	国立大学法人愛媛大学へ移行	副会長：水口 晃（法79） 事務局長：藤野 計紀（兼任）
	11	第10回総会	会 長：仙波 太郎（文史59） 副会長：玉井 靖彦（文経67） 副会長：水口 晃（法79） 事務局長：山本 求（文79）
2005（平17）	12	四国支部創立	
2006（平18）	11	第11回総会 四国支部発足総会 支部長：白石 隆（文法56） 副支部長：玉井周平（経78） 事務局長：白井 瞳（文国64）	会 長：玉井 靖彦（文経67） 副会長：水口 晃（法79） 副会長：鳥生 勉蔵（文89） 事務局長：山本 求（文79）
2007（平19）	4	同窓会支援による法文学部寄付科目スタート	
	10	法文学部との連携による提供講座スタート	
2009（平21）	10	第12回総会・50周年記念式典	

歴代会長

代	氏名	任期	代	氏名	任期
1	星野 陽 (文史53)	1959～1962 (昭34～37)	7	白石 隆 (文法56)	1991～1993 (平3～5)
2	井出 康夫 (文経53)	1963～1967 (昭38～42)	8	野本 陽二 (文哲54)	1994～1997 (平6～9)
3	前田 繁一 (文法55)	1968～1983 (昭43～58)	9	西田 博 (文経55)	1998～2000 (平10～12)
4	土居 俊夫 (文英53)	1984 (昭59)	10	白石 喜徳 (文法62)	2001～2003 (平13～15)
5	工藤 格 (文国57)	1985～1986 (昭60～61)	11	仙波 太郎 (文史59)	2004～2006 (平16～18)
6	余田 実 (文経58)	1987～1990 (昭62～平2)	12	玉井 靖彦 (文経67)	2007～2009 (平19～21)



1代 星野 陽
(2001.6 逝去)



2代 井出 康夫



3代 前田 繁一



4代 土居 俊夫



5代 工藤 格
(1998.11 逝去)



6代 余田 実
(2007.2 逝去)



7代 白石 隆



8代 野本 陽二



9代 西田 博



10代 白石 喜徳



11代 仙波 太郎



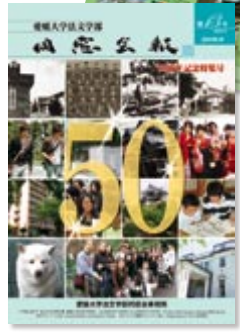
12代 玉井 靖彦

会報・名簿



会 報					
文理学部			法文学部		
号	年	月	号	年	月
第1号	1960 (昭35)	6	第1号	1979 (昭54)	10
第2号	1961 (昭36)	6	第2号	1980 (昭55)	10
第3号	1962 (昭37)	6	第3号	1981 (昭56)	9
第4号	1963 (昭38)	6	第4号	1995 (平7)	6
第5号	1965 (昭40)	8	第5号	1996 (平8)	12
第6号	1966 (昭41)	12	第6号	2003 (平15)	2
第7号	1967 (昭42)	5	第7号	2004 (平16)	11
第8号	1968 (昭43)	2	第8号	2005 (平17)	10
第9号	1968 (昭43)	6	第9号	2006 (平18)	3
第10号	1969 (昭44)	9	第10号	2006 (平18)	9
第11号	1970 (昭45)	8	第11号	2007 (平19)	9
第12号	1973 (昭48)	7	第12号	2008 (平20)	9
			第13号	2009 (平21)	9

名 簿					
号	年	月	号	年	月
第1号	1960 (昭35)	2	文理学部		
第2号	1965 (昭40)	11	〃		
第3号	1973 (昭48)	11	文理学部・法文学部・理学部		
第4号	1979 (昭54)	11	文理学部人文学科・法文学部		
第5号	1982 (昭57)	10	法文学部		
第6号	1984 (昭59)	10	〃		
第7号	1985 (昭60)	10	〃		
第8号	1988 (昭63)	10	〃		
第9号	1990 (平2)	10	〃		
第10号	1992 (平4)	11	〃		
第11号	1997 (平9)	11	〃		
第12号	2002 (平14)	11	〃		
第13号	2009 (平21)	10	〃		



開学式 (昭和24年11月11日、ホームページより
小池フサエ氏提供)



旧文理学部正門 (持田地区、昭和25年頃)



開学式当日の風景



法文学部本館(現講義棟)占拠の全同窓学生に退去を
呼びかける教職員(昭和44年、横山昭市名誉教授提供)



文京遺跡全景 (工学部4号館より撮影)



城北地区全景



昭和31年頃の本館 (事務局・教育学部・学生部)



学生際のファイヤーストーム (昭和32年)



昭和34年頃の購買部



章光堂 (旧松山高等学校講堂、大正11年竣工)



愛媛大学生協同組合創立総会 (昭和52年12月17日)



同窓会創立30周年記念パーティ

同窓会50年を語る

インタビュー
フリーアナウンサー
(Office Lapri)
後藤珠希
(2006年卒)

牧野修二

愛媛大学法文学部名誉教授

●プロフィール●
 昭和28年 3月 愛媛大学文理学部人文学科(甲)史学専攻卒業
 昭和31年10月 九州大学大学院文学研究科修士課程修了
 昭和33年 5月 愛媛大学講師(文理学部東洋史学担当)
 昭和36年10月 愛媛大学助教授(文理学部東洋史学担当)
 昭和43年 3月 愛媛大学助教授(法文学部・配置換え)
 昭和47年 4月 文学博士(九州大学)
 昭和52年10月 愛媛大学教授(法文学部)
 平成 7年 9月 愛媛大学退官
 平成 7年10月 愛媛大学名誉教授

後藤：本日はよろしくお願いします。まず、現在の法文学部の前身である文理学部の同窓会を設立された当時のことやきっかけなどをお話しいただきたいと思います。

牧野：大雑把に言うと、私が愛大に帰ってきたときに、当時四国電力に勤めていた同級生の井出康夫（後の2代目同窓会長）が「作ろう」と言ったんです。私は修士を出て半年かそこらで講義をしているわけですから、最初それどころじゃなかったんですよ。で、1年ぐらいたってから、そういうことを言い出して。まあ、結論から言うと「作ろう」とは言うけど、要するに「お前が作れ」というわけですよ（笑）はじめは「いや、こらえてくれ」と言っていたんですけど、やらないわけにもいかんかなと。

後藤：ほかの学部は同窓会を持っていたのですね。

牧野：新居浜高等工業学校の時代から続いて工学部になったり、農学部も松山農業学校から、また教育学部が愛媛師範学校から続いて長いんですけど、松山高等学校はね、文理学部につながりなかったんです。で、別に作らなきゃいかん。

後藤：それで、先生が事務局を引き受けられたのですね。初代会長の星野さんはその頃何を？

牧野：星野はね、私より一足先に松山に帰ってきて、商大（現松山大学）で教えてた。星野と井出と私は松高時代の同級生だったんですよ。それで新制大学になったとき、3人とも愛媛大学の文理学部に入って、星野とはそこでも史学専攻で一緒だった。井出は経済専攻になったけど、もとは同級生ですから話が通じやすかったですね。「会長は星野にやってもらおう」ということになり、星野も引き受けてくれて、まずは、主に松山在住の卒業生に案内状を送って、やっと始まったんです。

後藤：翌年には、第1回の会報誌を発行されてますよね。

牧野：総会をしたら、報告と宣伝を兼ねてすぐに発行しないといけないという認識がありましたからね、急いで発行しました。

後藤：当時は新聞形式だったようですが、編集は全部牧野先生

がお一人でされていたんですか？ ご苦労されたのでは？

牧野：ええ、一人で。時間がすごくかかったのが苦労というか・・・そんなに、しんどいわけではなかったですけどね。

後藤：会員名簿も翌年には発行されてますから、会報誌・名簿と最初からきちんと活動をされていたんですね。

牧野：名簿は、最初は人数もそんなに多くないですから難しいことではなかった。調査に手間はかかりましたけど。だいたい、5年おきぐらいい発行してました。言い忘れてましたけど、文理の「文」に私のほかに卒業生が1人と「理」に2人、教官として戻ってきていたから、相談するのには困らなかった。組織としてちゃんとしていないかもしれないけど、とにかく前へ進むように4人でやっていた。「理」の卒業生は越智さんと堀口さんと言って、別に相談して決めたわけではないけど、雑務は越智さんと私で引き受けていた。ほかの人には負担をかけないようにしていた。教官は勉強しないといけないですから。

後藤：でも、先生も研究にお忙しかったでしょう。

牧野：みんなそうです。でも、若い人にはなるべく迷惑をかけないというふうになら。文理が法文学部が変わって、西田さんに引き継いでもらうまでは、西田さんにはタッチしてもらわなかった。迷惑になるから。西田さんは好意的に助けてくれたんだけどね。当時、私が自分の教え子を専任講師として引っ張ってきてただけで、若いから労働力をあてにされる。しかし、西田さんに全部引き継いだときに若い人を使わないようにしてくれと強く言った。そして彼に任せた以上は、彼のやってくれることに私は一切口を出さなかった。

後藤：20年分の引き継ぎは、どのようにされたんですか？

牧野：事務的にね。別に難しいことじゃない。ざっとした記録と、会報誌やお金を引き渡すだけなんです。



後藤：会計は大変だったんじゃないですか。会費を入学時に集めるようになったのは後のことですよね。最初はお金が多かったんじゃないですか。

牧野：ないんですよ。本当になくて、困りましたよ（笑）最初に発会式をやりますと出した案内状に、終身会費とするから500円送ってくれ、と書いて送りました。当時の500円は大金ですよ。昭和30年ぐらいです。当時、「俺の給料は13800円」とかいう言葉を織り込んだ流行歌があったんですから（笑）それで50人ぐらいたったかな、協力してくれたおかげで発足できた。

後藤：同窓会の活動を通して、何か印象に残っていることはありますか。ご苦労されたのは、お金のことと時間をとられたことだと思いますが。

牧野：お金のことは、最初は苦労したけど、あとは困らなかった。しばらく使わないようにしていたから。会報誌の印刷代と郵送料だけ。名簿は独立採算制で、会費からは出さないと決めていた。

後藤：その頃はみんな名簿を買ってくれていたんですか。今は、なかなか買ってくれないので困っているんです。

牧野：いや、買う率は今とあんまり変わらないんじゃないかな。だから見当が難しいよね。そういう苦労はね、私はしてなくて、名簿の発行の経費の計算とか見通しとか、越智さんがやってくれました。

後藤：大学や学部との関係では、何かされてはいましたか。今は就職支援などを同窓会と一緒にやっているんですが。学部と同窓会の関係は、ずっと別の組織として活動？

牧野：そう、私のときはそうでした。お世話にならないといけないところもあったけど、なるべく迷惑をかけないようにね。私が事務局長をやっていたのは大学側も承知していました。会費は入学時に集めるというのがまもなく始まったんです。そのときは大学のお世話になりました。

後藤：1982年から始まったんですね。入学時に授業料と一緒に集めるのは。

牧野：それは法文学部としてでしょ。文理のときも、入学時に集めるようにしていました。それがいつ始まったのか、ちょっと記憶にないんですけど・・・。会費が10,000円になったのも、いつだったかな。この辺から記憶が危ない（笑）法文学部と理学部に分かれましたね、文理の「文」「法」「経」が法文学部に「理」が理学部。そのあと同窓会も分かれることになって。

後藤：79年の8月に分かれることを決めていますね。先生が事務局長を西田先生に交代される1年くらい前ですね。

牧野：ああ、そうですね。そのくらいです。私も「理」の越智さんと相談して、分けましょうということになって、す



ると財産分けが必要です。そこは公平に分けました。越智さんと私が話し合っただけですけどね。あまりお金を使わないようにしていたからまあ貯まっていた、2つに分かれてもしばらくの間は活動ができなくなるとか赤字に苦しむとか、そういうことは一切なかった。ただし、儉約してね。会報誌は郵便料を儉約して、自分で配達していた（笑）

後藤：ええ!? 先生が配達なさったんですか！

牧野：市外はさすがに無理だから、市内のね。いや、たいしたことはないです。県庁や市役所や学校、伊予銀行、愛媛銀行などの職場にちょっと持って行って。時には個人宅にも持っていったことがあるね。それは引継ぎをする最後までやりました。

後藤：はあ～、なるほど。今も、県庁や市役所にはまとまった数の同窓生がいますから、世話役の方に渡すとかできますね。

牧野：それで節約できる郵便料なんてたかがしれているんだけど、重要なのはそれよりも顔つなぎですよ。会報誌を持っていくことで、その職場の幹事役の人とコミュニケーションがとれる。幹事役は幹事役で、職場内を配って歩くときにまた会員とコミュニケーションがとれる。だからわざわざね、配達をしていました。そういうことをしていないと、「総会をしますから出てください」と言っただけで、出てこないよね。でも、顔つなぎしておくとか来てくれるから（笑）

後藤：昔は、今より団結していたんですね？

牧野：いや、団結というわけじゃないですが（笑）でも、所在をつかんで連絡がとれるようにするというのを最優先にしていたんです。ほかの事は、できたらするという感じ。逆に言うと、なるべくしたくない。うるさがられるでしょ、あんまりやると。だから、私のやり方はドライだったと思いますよ。

後藤：それでは、最後に同窓会へ期待することや同窓生へ何かメッセージをお願いします。

牧野：私は、さっきも言ったように後の人へは何も言わない主義です（笑）学部を退職するときもそうでした。後の人に何も言うべきじゃない。辞めたらもう、大学にも行きません。研究会ぐらいいは行ってもいいんですけど、2～3回しか行ってないです。期待することはそれはたくさんありますけど、何も言いませんよ（笑）

後藤：今秋の50周年記念総会はぜひご出席ください。歴代の会長、事務局長はご招待してるんです。

牧野：そうですね。それはなるべく出席したいと思います。

後藤：はい、お待ちしております。本日は、ありがとうございました。

同窓会 提供講座 『社会と人間』

報告



平成19年度に続き、20年度も法文学部同窓会の全面的支援の下、同窓会員を講師として学生に社会の有り様や就職活動・就職後の仕事の実際、昔の学生生活、先輩たちの生き方等を語り、後輩である学生たちに、大学生活及び卒業後の社会生活を自ら設計する手がかりを与えることを目的とした提供講座（19年度は「寄附科目」という名称で実施）を開催しました。

平成20年度は、平成20年10月2日のガイダンスに

始まり、翌21年2月5日のまとめまで、全15回にわたり計26名の同窓会員に講師としてご協力をいただきました。

また、平成21年2月14日には従来のOB・OGフェスタに替わる企画として講師と受講生の交流会を開き、約2時間の交流を持ちました。その後、森法文学部長室にて、提供講座のお手伝いをいただいた現役学生のみなさんに、玉井同窓会会長より感謝状と記念品が手渡されました。



回	担 当 日	テ ー マ	担当講師名	現 職
1	10月 2日	ガイダンス	玉 井 靖 彦	法文学部同窓会会長
2	10月 9日	一色社長と語る	一 色 昭 造	石崎汽船株式会社代表取締役社長
3	10月16日	森本相談役と語る	森 本 惇	伊予鉄道株式会社取締役相談役
4	10月23日	都会で働く	井 上 寛 二 岩 見 龍 也 鳥 生 勉 歳	(株)愛媛新聞社販売局販売部長 (株)日テレ・テクニカル・リソース制作技術センター取材技術部撮影担当 (株)愛媛新聞サービスセンター生活情報出版部
5	10月30日	公務員として働く	二 宮 佳寿美	愛媛県保健福祉部生きがい推進局長寿介護課長寿政策係主事
6	11月13日	20代の先輩と語る	増 田 創 一	松山市総務部行政情報課主任
7	11月20日	メディア業界で働く	伊 藤 絵 美	(株)愛媛新聞社編集局映像報道部記者
8	11月27日	教育の現場で働く	中 井 寛 寛 桐 本 尚	(株)愛媛新聞社編集局経済部副部長 南海放送(株)報道部
9	12月 4日	金融業で働く	本 田 宗 紀 小 西 昭 夫	愛媛県立松山工業高等学校教諭 愛媛県立中山高等学校教諭
10	12月11日	異国文化と仕事	井 町 泰 子	(株)伊予銀行個人営業部課長
11	12月18日	法の現場で働く	大 政 聖 子	(株)伊予銀行人事部
12	1月15日	文系エンジニアとして働く	藤 岡 久美子	済美平成中等学校常勤講師
13	1月22日	20代の先輩と語る	山 本 求 晃	大学生協中国・四国事業連合専務理事、COOPオンライン/パシフィック代表取締役
14	1月29日	働く女性と現代	水 口 晃 樹	弁護士
15	2月 5日	独立して働く(自営業)	松 岡 正 樹	松山家庭裁判所主任書記官
Ext.	2月14日	講師と語る法文学部	後 藤 珠 希 山 内 誠 司	フリーアナウンサー (Office Lapri) (株)ヒューマンテクニカ
			遠 藤 学	松山総合開発(株)松山全日空ホテル総務
			谷 水 恭 子	三浦工業(株)人事部女性活躍推進課
			小 林 紀 子	フリーライター
			八 束 誠 二	レストランワイズトーキョー経営
			高須賀 敦	税理士法人ビジネスソリューションズ代表税理士
			OB・OGフェスタを兼ねて、本講座講師と学生とによる交流会を行う。	

受講生の声

人文学科4回生(当時)酒井智史君のアンケート集計より

- ・日常生活で出会うことのない方々から話が聞けてよかった
- ・講師の方々に親近感を感じながら受講できた
- ・将来が見えてきた気がしました
- ・学生とはまた違った意見や考え方を多く聞くことができ、生活態度の参考になった
- ・その業界の結構リアルな本音を聞くことができた
- ・現在就活中なので進路選択に大いに役立った

など、おおむね好評をいただきましたが、一方、

- ・授業の内容によってムラが生じていた

平成21年度

法文学部同窓会提供講座「社会と人間」

引き続き、平成21年度も提供講座を開催します。受講生のアンケートを基に後学期にスケジュールを組んでいます。8月時点で決定しているのは以下のとおりです。

平成21年10月1日(木)～平成22年1月28日(木)
毎週木曜日 第5時限 16:20～17:50

▶ 提供講座の聴講について

同窓会員の方々は無料で聴講が可能です(単位認定証発行)。提供講座の詳細は、愛媛大学法文学部のHPをご覧ください。法文学部学務チームまでお問い合わせください。(TEL 089-927-9220)

- ・これからの人生の参考になったが、自分の将来像を明確に描けなかった
 - ・質問がしにくい雰囲気があった
 - ・実際に就職するための方法や資格についてなど、もっと役に立つ話をしてもらったり、質問に答えてもらった方がよいと思う
 - ・質問のまとめのプリントがあると逆に質問しにくかったです
 - ・司会進行により内容の密度が変化することがあるため、出来れば方針を統一して欲しい
- などの貴重な意見もありました。ぜひ次年度の参考にしたいと思います。

お知らせ

担当回	担当日	テ ー マ
第 1 回	10 / 1	ガイダンス
第 2 回	10 / 8	招待講演(1) (吉野内直光氏)
第 3 回	10/15	公務員として働く
第 4 回	10/22	20代の先輩と語る
第 5 回	10/29	都会で働く
第 6 回	11 / 5	教育の現場で働く
第 7 回	11/12	招待講演(2) (森田 正氏)
第 8 回	11/19	金融業で働く
第 9 回	11/26	証券業界で働く
第10回	12 / 3	招待講演(3) (竹田美喜さん)
第11回	12/10	コンサルタントとして働く
第12回	12/17	医療現場で働く
第13回	1 / 14	出版・報道業界で働く
第14回	1 / 21	小売業で働く
第15回	1 / 28	まとめ

担当回(担当日)は暫定的なもの。変更の可能性あり。

ご存知ですか？

(財)白楊会館 結婚相談所 Marriage Counseling Center

♡ 素敵な出会いを ♡

皆さまの幸せな結婚を願っています。どうぞお気軽に、多数のお申し込みをスタッフ一同お待ちしております。

対 象：愛媛大学同窓会員とその家族

愛媛大学教職員とその家族

上記の方から紹介された方

相談日：毎週水曜日 13:00～17:00

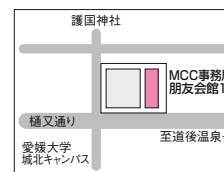
申込み：申込書にご記入のうえ、身上書1部を添付してください。なお、申込用紙については、結婚相談所にご請求ください。

写真2枚程度添付してください。(1年以内に撮影したカラーでサービス判程度のスナップが望ましい)



朋友会館

【お問い合わせ・資料請求先】
〒790-0825 松山市道後樋又10-13
愛媛大学朋友会館内
TEL(089)923-7210
info@hakuyou.or.jp



財白楊会館は、昭和41年9月、愛媛大学教育学部前身女子師範学校同窓会によって設立され、婦人の資質向上を目的に、婦人教育や結婚相談事業などを行ってきました。その後、昭和60年頃から、愛媛大学同窓会連合会のメンバーが引き継ぎ、現在は各学部同窓会会長が役員として、白楊会館の運営や結婚相談事業を推進しています。

法文学部

総合政策学科 人文学科

コース紹介

法文学部には、主に社会諸科学の教育研究を中心に行う「総合政策学科」と、主に人文諸科学の教育研究を中心に行う「人文学科」とがあります。また、両学科とも「昼間主コース」とともに「夜間主コース」を設置しており、社会人教育に対応しています。

総合政策学科

コース改編によって、総合政策学科が生まれ変わり、新たな一歩を踏み出しました。従来の専門コースを一新し、「公共コース」、「企業システムコース」、「司法コース」という3つのコースを設けています。

「法律・政治・経済・経営・国際関係などの社会科学系の科目を幅広く勉強できる」という従来の総合政策学科の特徴を生かしながら、それぞれのコースで専門分野をより体系的に学ぶことができるカリキュラムです。

そして、公共コース、企業システムコースの中には、それぞれ特別コースとして、「グローバル・スタディーズ」、「地域コース」という少数精鋭のコースを新設し、国際社会で活躍できる人材の養成、地域社会で活躍するリーダーの養成を目的としています。

さらに、2009年度から、総合政策学科と人文学科が共同して、学科を超えた特別コースとして、「観光まちづくりコース」を新設し、総合政策学科には「観光政策系」を設けています。

これに対して、夜間主コースに関しては、「総合コース」に一本化し、現代社会で活躍できるジェネラリスト（＝総合的視野に立った社会科学的教養人）の養成を目標としています。



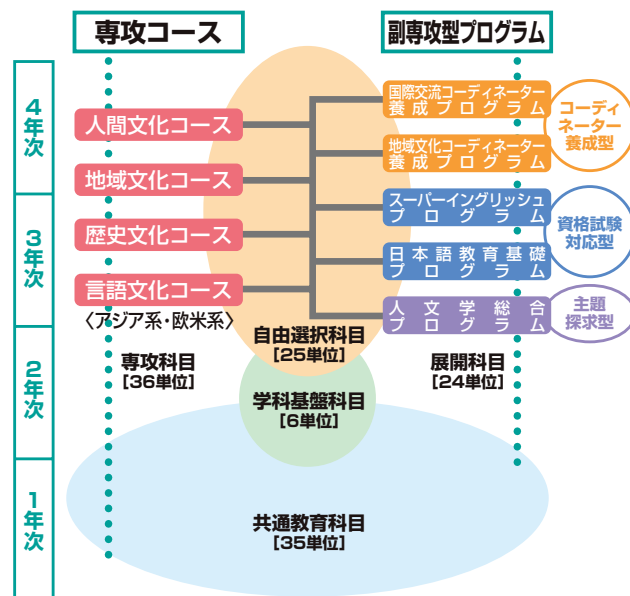
人文学科

専攻コース

専攻コースには、「人間文化コース」「地域文化コース」「歴史文化コース」「言語文化コース〈アジア系・欧米系〉」のコースがあり、そのうちどれか1つのコースを選択し、さらにそのコースのなかの1つの専門分野について深く学びます。そして、教員との交わりや、他の学生との共同作業を通して、問題のありかを発見し、答えを自ら導き出していきます。あたえられたものを吸収するだけでなく、専門の知を作り上げる実感を味わうことができるシステムになっています。

副専攻型プログラム

副専攻型プログラムには、コーディネーター養成型の「国際交流コーディネーター養成プログラム」と「地



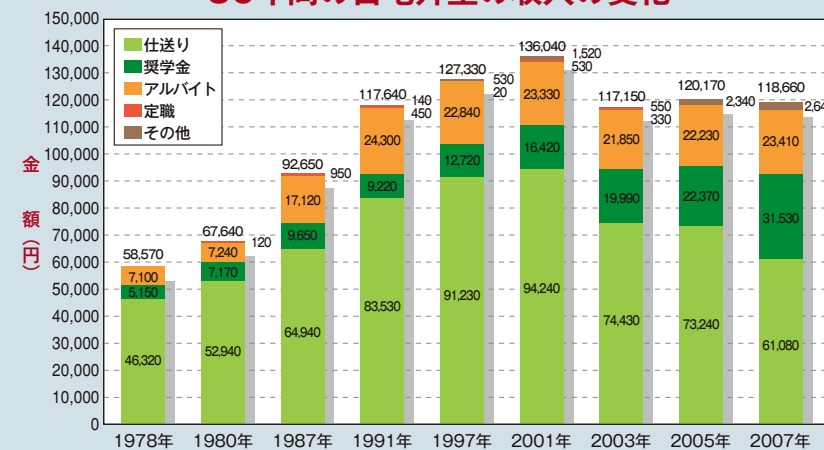
域文化コーディネーター養成プログラム」、資格試験対応型の「スーパーイングリッシュプログラム」と「日本語教育基礎プログラム」、主題探求型の「人文学総合プログラム」があります。

専攻コースと副専攻型プログラムの組み合わせによって学生はそれぞれ、自分の目標にもっとも適した教育プランを作ることができます。また、将来の目標がまだ漠然としている人も、専攻コースと副専攻型プログラムをあわせて学ぶことで、自分に何ができるのか、自分は何をしたいのかを発見できます。



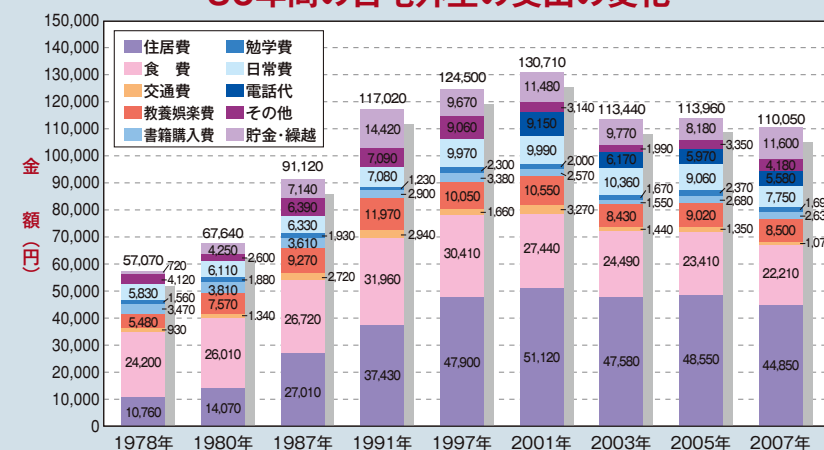
数字で見る愛大生の収支状況

30年間の自宅外生の収入の変化



- 収入は、2001年の13万6千円をピークに12万円前後に下がって推移しています。
- 仕送りが大きく減少、奨学金が増加して、卒業時に多くの借金を背負ってしまう実態があります。
- アルバイトも収入の20%を占めています。

30年間の自宅外生の支出の変化



- 住居費が支出の4割を占め、電話代も増加しています。
- 一方で、食費が30年前より少なく、書籍代も減少しており、深刻な状況にあります。

愛媛大学生協同組合「30年のあゆみ」より

Photograph in Campus



正門



記念講堂



総合情報メディアセンター



構内の並木



ハナちゃん、夕暮れ散歩

法文学部に『観光まちづくりコース』スタート!

平成21年度から法文学部に新しく設置された「観光まちづくりコース」。

観光産業を地域の基幹産業として育てていくために、地域のリーダーを養成することを目的にスタートしています。

初年度の入学生は女子6名。実際にどのような授業



授業風景

が行われているのか、観光まちづくりコース専門の授業として唯一開講されている「観光を学ぶ」をのぞいてみました。

授業を担当しているのは、理学博士の井口 梓先生。昔と今の街並みの違いを地図から確認するなど、地理からまちづくりを考えることも授業に取り入れています。

学生がこのコースを選んだ理由は、「愛媛県が好きだから」「訪れた外国人に見どころや良さをもっと紹介したい」、「世界に愛媛県の魅力を発信できるようになりた

い」「地元をもっと知り地域のために役に立ちたい」など。将来は地方放送局のアナウンサーや旅行会社でツアーコンダクターとして活躍したいという具体的な夢を持っている人もいます。

学外に出て実際に街並みを探索するフィールドワークの授業もあり、ロープウェイ街を歩いて感じたことや問題点をまとめてプレゼン形式で発表するなど、意欲的に授業に取り組んでいる様子が印象的でした。今後は、フィールドワークを県外に広げたり、他大学の同コースの学生との交流も計画

しているそうです。

4年後には35名になる観光まちづくりコースのこれからが楽しみです。



フィールドワーク



井口梓先生(後列右端)と学生

EHIME UNIVERSITY NEWS

「学長による記者懇談会」を開催

平成21年7月1日(水)、学長と報道関係者との懇談会を開催し、情報交換を行いました。この懇談会は、法人化から6年目を迎え、柳澤康信学長から直接オビニオンリーダーである第一線の報道関係者へ、本学の現状や今後の取り組みについて情報提供を行うことにより、本学への理解を深めてもらい、併せて地域への支援と協力をお願いすることを目的として開催しました。

懇談会は、11の報道機関から14人の報道関係者、3人の愛媛大学新聞部の記者、柳澤学長、役員を含む教職員約30人が参加しました。

まず、柳澤学長から、「愛媛大学の現状及び今後の取り組みについて」の報告を行い、引き続き、愛媛大学開学60周年記念事業、愛媛大学ミュージアム、愛媛大学ブランド品販売店舗の設置等8項目についてニュース・リリースしました。その後、同ミュージアムの展示内容や、ブランド品販売店舗でのグッズ販売方法や、本学が求める学生像などについて、様々な質疑応答、意見交換を行いました。

今回の懇談会は、昆虫の標本や将来の愛大ブランド品候補も多数展示し、参加者には愛大どら焼きやマドレーヌも配るなど、穏やかな雰囲気の中、ひと味違った懇談会となりました。

「地域にあって輝く大学」を目指す愛媛大学では、今後も様々な情報を分かり易く、積極的に発信していきたいと考えています。

〈広報室〉



▲説明をする柳澤学長



▲熱心に聞き入る報道関係者



▲将来の愛大ブランド候補たち

詳細は愛媛大学のホームページでご覧いただけます。 <http://www.ehime-u.ac.jp/whatsnew/index.html>

Graduation Memories

平成20年度
法文学部卒業記念祝賀会



関東支部 [東京章光会]

第45回総会開催される



高崎会長挨拶

平成21年7月11日(土)東京・大手町のサンケイプラザで第45回の記念総会を開催しました。過去最多の100名を超える参加をいただき、盛況に開催することができました。大学側からは西村法文学部長、森教授、水口教授、神楽岡准教授、校友会本部からは森本会長、菅田事務局長、同窓会本部からは玉井会長、山本事務局長、サテライトオフィス東京、また首都圏にある旧制松山高等学校、工学部、理学部、農学部、教育学部の各同窓会が、さらに四国支部、関西支部、広島支部の他地区からも来賓として多くのご参加をいただきました。

東京章光会総会は今回で45回目になり、記念すべき総会にしようと役員一同1年がかりで総会の企画づくりや、参加者の増員策を検討してきました。とくに若手卒業生や女性会員の参加を積極的に働きかけた効果がありました。

同窓会は会員相互の親睦、交流の場ではありますが在学生にとっては就職のアドバイスや相談の場が必要であり、また若手卒業生にとっては見知らぬ土地での先輩の存在はありがたいものであったと私自身感じたことがあります。それだけに同窓会の存在は年々重要性を増しています。



クラシックコンサート

隠し演目の中で「愛媛大学学歌」が演じられたときは、参加者全員による合唱でコンサートは最高潮に達しました。また、懇親会では、今年も「坊ちゃんとマドンナ」の登場や好評の福引抽選会で大いに盛り上がりました。

今年11月からNHKドラマ「坂の上の雲」も3年にわたって放映されます。この機会に松山市での同窓会、同期会を開催したり、また旅行されるのも記念の旅となり意義あるものとなるでしょう。



懇親会の様子



記念撮影

来年は7月10日(土)サテライトオフィス東京での開催を予定しています。

これからも東京章光会を「愛媛大学を卒業してよかった」と思ってもらえるような楽しい同窓会にしていきたいと思っています。

東京章光会 (会長 高崎泰典) 幹事長 太田重明 記

広島支部

第4回広島支部の同窓会は、平成20年11月15日(土)ホテル東急インで参加人数41名と昨年より増して多くの同窓生が集まり、開催されました。

四国支部から玉井副支部長の臨席を得て、大学からも総合政策学科の本田教授にご参加をお願いして、新社会人も4名参加することで活気のある会になりました。

支部長挨拶に続いて事務局からの簡単な報告があり、今回の参加人数の大幅な増加には広島市役所勤務の米神氏(副市長)、藤田さん(部長)のお力が大きく、改めて同窓の意義を皆で噛み締めました。本田教授から最近の大学を取り巻く内外の状況について説明があり、時代とともに大きく変化している状況を認識して、各自の大学時代との較差に驚いていました。筑前琵琶の演奏を楽しみ、最後は大学学歌の斉唱に続き、寮歌「若葉の古城」「三光寮を歌う」を声高らかに歌って、3時間以上続けられた懇親会も、来年の再会を誓って名残りを惜しみながら散会になりました。今年は11月14日(土)ホテル東急インで昨年と同様に開催されますので、多くの同窓生のご参加をお願いしたいと思います。会の運営について、ご意見を事務局にお聞かせいただければ、幸いです。



筑前琵琶の演奏



記念撮影

顧問 竹本義昌(昭和33年人文乙法卒)
支部長 楠本 淳(昭和35年人文乙法卒)
事務局 岡田禎之(昭和40年人文乙法卒)
連絡先 090-2862-1467

四国支部

第3回総会報告



講演する宇都宮支部長

平成20年11月7日(金)松山市のビューフル松山で四国支部第3回総会が開催されました。総会の前に支部長の宇都宮真由美弁護士によるこれからの社会の関心事である「裁判員制度」についての記念講演会が行われました。



総会懇親会終了後の記念撮影

同窓会50周年記念講演会のご案内 (四国支部主催)

本年度は本部の3年に一度の総会開催年のため、例年のような総会は開催しません。10月30日の本部総会に是非ご参加ください。支部として記念講演会を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

日時 11月14日(土) 13時より 90分予定
(愛媛大学では、学生祭の開催予定です)

場所 愛媛大学 メディアホール

講師 森田 正さん(元朝日ヘリコプター社長)

講演会の内容について

- 『ヘリコプターで運んできたもの』
愛媛大学の思い出～ 朝日ヘリコプターについて
- 社会貢献
富士山気象レーダー設置 黒部第4ダム建設 領海を守る
- 急ぐ人を運ぶ
政治家・スポーツ選手・芸能人他
- ドクターヘリの現状と未来
講演会終了後、皆様の質問等を受け付ける予定です。

＊森田さんは愛媛大学を昭和33年に卒業された後、ヘリコプターを使って様々なお仕事をされてきました。その人生は日本経済新聞等でも取り上げられていますが今回愛媛で直接聞くことができます。なお多くの政治家や著名人の色紙等も保有されており今回石原裕次郎の最後の色紙を持参される予定です。

会費 無料

出欠 同窓会報の参加通知葉書で10月24日(土)までにお願いします。

問合せ先 詳しくは事務局(右記)まで



総会にて 校歌斉唱

森田正さんを囲む食事会ご案内

14日の同窓会記念講演会に来られる、森田さんのお話は同窓会の提供講座で特別講義として12日に学生向けに行う予定です。四国支部では森田さんとの楽しい食事会を企画しました。是非ご参加ください。

日時 平成21年11月13日(金) 18時30分頃より

場所 松山全日空ホテル予定

会費 2000円予定

出欠 同窓会報の参加通知葉書で10月24日(土)までにお願いします。

問合せ先 詳しくは事務局まで

同窓会ゴルフコンペのご案内

日時 平成21年11月13日(金)
8時30分集合 9時頃よりスタート
(今年は平日です)

場所 北条カントリークラブ
松山市才之原乙76-2 電話089-996-0211

会費 2000円予定 プレー費は各自清算

出欠 同窓会報の参加通知葉書で10月24日までにお願いします。

問合せ先 詳しくは事務局まで

なお昨年の同窓会ゴルフは広島支部の岡田さんが3年連続の優勝。今年は地元からの参加者による戦いを大募集。



一番左が優勝した岡田さん

四国支部事務局連絡先

〒790-0047 松山市余戸南1-6-26(玉井方)

電話089-973-5048

担当：副支部長 玉井周平 携帯090-8973-7650

tousui78@yahoo.co.jp

関西支部 [にぎたつ会]

今年の秋に総会を予定しています。詳細は下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先

●事務局長 細川浩希(法1968年卒)
〒583-0012 大阪府藤井寺市道明寺5-5-10
電話0729-38-0989

●支部長 和田哲治(経1968年卒)
〒593-8312 大阪府堺市西区草部1539-2
電話072-274-6645

愛媛大学法文学部同窓会理事会報告

愛媛大学法文学部同窓会 2008年度第3回(通算第46回)理事会報告

日 時：2009年2月27日(金) 18:30～20:00

場 所：愛媛大学朋友会館 出席者：20名

議 題：

【報告事項】

- 09年1月1日付で、法文学部同窓会ホームページを開設しました。
- 法文学部同窓会提供講座終了。感謝状贈呈式、学部長との懇談会も実施しました。
 - 2年目を迎える「同窓会提供講座」が、昨年より多い100名を超える受講生の下で2月5日(木)終了しました。アンケート結果もまとまってきました。
 - 加えて、講師と受講生を中心とするOB / OG企画も09年2月14日(土)朋友会館にて開催されました。その後に感謝状贈呈式、森学部長・黒木次期学部長も交えて懇親会を行いました。
- 08年11月26日(水)大阪、09年1月17日(土)東京にて、愛媛大学(校友会)就職パス歓迎行事が開催され、東京章光会・にぎたつ会が協力参加しています。
- 「章光堂」改修のための協力要請がありました。委員の打診を行っています。
- 1月29日(木)「同窓会報 創立50周年特別号」編集委員会が開催されました。
- 08年度決算状況と見通し(次回理事会参照)

【協議事項】

- 法文学部同窓会 創立50周年行事の具体化について
 - 案内状の内容と扱い方
 - 記念品追加
 - 旗 など協議しました。
- 東京章光会からの要請(特別活動拠出金)について
 - 80万円の特別拠出で承認されました。
- 次期の理事・監事、学科別役員の一回目の検討について

愛媛大学法文学部同窓会 2009年度第1回(通算第47回)理事会報告

日 時：2009年6月12日(金) 18:00～20:00

場 所：愛媛大学朋友会館(職員会館) 出席者：26名

議 題：

【報告事項】

- 同窓会員 会員数報告 ()内は前年
 - 2009年3月末日
 - 卒業生 学部生:599(581)人、院生:26(35)人

【2009年3月末卒業生内訳】

	昼間主	夜間主	計	法文学研究科
総合政策学科	262(265)	128(122)	390(387)	総合法政策10(16)
人文学科	152(135)	57 (59)	209(194)	人文科学16(19)

【内訳】 文理学部19年(1953年～1971年) 2,222人
法文学部37年(1972年～2009年) 14,548人
計16,770(16,171)人

- 法文学部同窓会 50周年事業関係
以下の準備内容が報告されました。
 - 記念レセプション関係
 - 会報・「50周年記念誌」
 - 編集委員会
 - 準備中
 - 名簿発行
 - 時計台
- 09年度法文学部同窓会提供講座「社会と人間」開講について
- 5/17工業会総会、校友会、会長会議関係

【審議事項】

- 08年度決算の承認
 - 収入579万4,564円(昨年573万8,007円、予算556万円)に対し、支出708万5,997円(昨年543万6,281円、予算700万円)となり、予算の▲144万円の赤字予算(50周年関係支出のため)に対し、▲129万1,433円の赤字となりました。
 - 収入は、利子の増額もあって23万円4,564円予算超過です。
 - 支出関係では、50周年関係で事務局費用50万円、会員名簿作成郵便30万円、会報増4ページ分約20万円、ホームページ関係5万円の計105万円程度が増加分となっています。通常の支出では、東京章光会総会参加者が増えて40万円予算に対し50万円に10万円程度超過した以外は、ほぼ予算どおりの執行となっています。
 - 監査は、田村監事に加えて退任された光宗監事の推薦による高谷宗武さんにも加わっていただき、5月10日(日)と6月

11日(木)の2回行いました。

その際、以下の2点について要請されております。

- 経理規程の中で、勘定科目や処理基準を定めると共に、監査規程も必要。
 - 預金管理に関しては、金額の関係で事務局長一人は責任が重過ぎる。内部牽制も含めて複数で管理する規模になっているので改善を求める。
- 09年度の事業計画 ～50周年記念事業を成功させます～
 - 第12回総会(10/31出)と50周年記行事を成功させます。
 - 14:00時計台落成式、15:30総会、記念式典、17:30記念レセプションを多くの会員の参加で成功させます。その際未来へ引き継がれる記念の時計を大学・学部へ寄贈します。
 - 第12回総会では、2010年～2012年の3カ年の活動方針・事業計画を検討・承認し、新しい役員を選出します。
 - 記念式典・レセプションでは、理事会を中心に会員や支部の協力も得ながら、参加者を広げます。
 - 50周年記念事業として会員名簿を発行します。
 - 名簿作成は、学生の帰属意識の低下と個人情報保護が重なって情報入手が困難になっています。学部・校友会・大学生協とも協力して、引き続き新住所の把握に努めます。
 - 09年度は、50周年記念事業として9月1日発行で名簿編集を進めます。そのために16,000人会員をできるだけデータベースとして正しく把握します。ホームページや携帯サイトも活用します。
 - 今後の名簿管理とそのシステムについては「名簿管理システム検討委員会」等で検討を始めます。
 - 今年度の会報は「50周年記念誌」として増ページし、愛媛大学と同窓会の歴史や現状を知り、交流し、読んで楽しい会報発行を進めます。
 - 3年目を迎える法文学部同窓会提供講座「社会と人間」を成功させます。
 - この2年間の取り組みの経験や教訓、アンケート結果も活かしながら、09年度を成功させます。同窓生参加の寄附科目も広く呼びかけます。
 - 「現役学生と同窓生の交流会」も新しい形で準備します。
 - 次期の活動強化のために、法・文・経の出身学科だけでなく、老・壮・青、男女のバランスも考えて理事を選出し、明るく活発で民主的な理事会運営に努めます。そのための必要な規程の整備を進めます。
 - 総会に向けた次期理事・監事の選出を進めます。
 - 監事からの要請を受けて、管理関係の規程の整備を行います。
 - 支部活動の活発化を重視し、財政基準も含めて支援内容について検討します。関東・関西・広島・四国支部からの代表者会議も開催し、お互いの活動や運営の交流を行います。
 - 6月13日支部代表者会議を開催します。活動交流・50周年記念行事・規程の確認など行います。
 - また、10月31日(土)の総会・記念式典・レセプションには代表者を招待します。
 - 09年度予算の承認
 - 通常の支出と50周年については分けて管理します。通常については、収入は580万円、支出は660万円で予算化します。▲80万円の赤字は学部への支援講座80万円分です。
 - 収入では、新入生555人で555,0000円に利子収入250,000円を加えて580万円の収入が見込めます。支出では、支部代表者会議に各支部総会への参加費用で35万円が増額になると、パソコン・コピーで30万円予算化している以外は、ほぼ例年通りです。



理事会の様子

愛媛大学法文学部同窓会 創立50周年記念行事

文理学部同窓会として1959(昭和34)年10月に創立されて以来、今年で50周年を迎えます。

全国各地でご活躍の同窓生の皆さんと共に、記念すべき50周年を迎えたことをお祝いしたいと思います。

I 総会&50周年記念式典・レセプション

来賓の方々や同窓生と共に、50周年という節目を祝い、交流の場とします。

日 時：平成21年10月31日(土) 15:30～19:30 (受付15:00～)
会 場：全日空ホテル 南館 サファイアールーム・エメラルドルーム
定 員：約200名
会 費：男性 3,000円 女性 2,000円 (これ以上は同窓会が負担します)

1 第12回総会

15:30～16:00 サファイアールーム

- 事業報告の承認
- 活動計画の決定
- 役員改選
- その他

2 記念式典

16:00～17:20 サファイアールーム

- 愛媛大学吹奏楽部等の演奏(予定)
- 主催者(同窓会会長)挨拶
- 来賓祝辞(学長、校友会会長、法文学部長)

4. 記念講演



講 師：子規記念博物館館長 竹田美喜さん
(昭和43年卒業 文甲 国文専攻)
テーマ：「坂の上の雲について」
～子規とふるさと松山～

3 レセプション

17:30～19:30 エメラルドルーム

和洋折衷料理+屋台コーナー

参加申込みは、同封の申込み用紙にご記入の上、FAXでお送りください。FAXのみ受け付けます。

II オリジナル記念品

記念式典で出席者にお渡しいたします。3点の中から1点をお選びください。



III ホームページ制作

住所変更等、PC・モバイル共に随時受け付けております。

【PCサイト】<http://koyu.ehime-u.jp/houbun/blog/>

【モバイル(携帯)サイト】<http://www.just.st/?in=308906>



是非
アクセスして
ください!



IV 記念時計寄贈について

法文学部講義棟に設置することになりました。10月31日(土)、14:00から除幕式を予定しております。

V その他の事業

同窓会・各支部それぞれ記念旗を作ることになりました。10月31日の記念式典・レセプション時に皆様にお披露目予定です。

お知らせ

皆様にご案内しておりました記念切手の作成及び販売は、話し合いの結果、見送る運びとなりました。また、上記の内容は、前回の会報でお知らせしていましたが若干の変更点もございます。ご了承ください。

